

長崎市立大園小学校学校だより

「できた!」

令和4年 4月18日

No. 2

文責 校長 木下和敏

歓迎遠足•歓迎集会

令和4年度がスタートして3週目となりました。15日(金)は、前日の降雨のため実施が懸念された 歓迎遠足・歓迎集会を無事に実施することができました。横尾の秋寄公園・築廻公園を目的地としました。 6年生の子どもたちが1年生の子どもたちをしっかりとサポートして歩く姿が見られ、とても頼もしく思 ました。目的地では、遊具を使ったり、ボールや長縄などを使ったりして、友達との交流を深める様子が 見られました。

歓迎遠足等は、1年生の入学を歓迎する気持ちをもつことや気持ちを行動に表すことはもちろんのこと、2年生から6年生の子どもたちも新たな友達・先生との出会いを喜び合い、親交を深める目的で行うことを集会時の校長の話の中でさせていただきました。そのうえで、今日の「できた!」は、「ニコニコ笑顔で一日を終えること」としました。築廻公園のほうは、前日の雨の影響が残り、土が柔らかいところもありましたが、元気いっぱい、走り回る様子に子どもたちのエネルギーを感じました。今日からは、1年生の子どもたちも給食がスタートしました。これからは、普段の日課で学校生活を送ることになりますので昼休みはますます賑やかになることと思います。

新学期がスタートして3週目、新たな集団生活に慣れ始めるこの時期、子どもたちの緊張感にも変化が出やすい時です。今まで気づかなかった疲れも出やすくなります。一日の生活リズムを大切に、「早寝・早起き・朝ごはん」を継続していただくよう、保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

あいさつを大切に

入学式で新入生に大切にしてほしい三つの言葉の話をしました。「おはようございます」「ありがとうございます」「すみません」の三つです。言葉は社会生活を営む上で欠かせないことは当然ですが、心と心を紡ぐ大切なものです。感染予防のためマスクを着けており、表情も分かりづらい今、言葉のコミュニケーションは重要です。「子は親の鏡」と言われます。子どもたちができるようになるためには、手本が必要です。家庭内はもちろんのこと、地域でのあいさつなど、子どもたちが社会性に育むために保護者の皆様のご指導・ご協力をお願いします。

詩 『子は親の鏡』 「子供が育つ 魔法の言葉」 ドロシー・ロー ノルト著 より

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

【新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金」についてのお知らせ】

本日、別紙にて厚生労働省・都道府県労働局から依頼を受けた文書を配布しました。この文書は一度、2 月に配布させていただいたものですが、次の2点の目的で再度配布いたします。

①新1年生の保護者の方に、本制度をお知らせすること。

②本制度の受付期間が3月31日から6月30日に変更されたこと。

学校ではご質問等にお答えすることはできあんせんので、お尋ねがあれば、文書表面下のコールセンターまでご連絡ください。